

事業番号 2022 - 文科 - 21 - 0225

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	科学研究情報発信基盤の強化			担当部局	研究振興局	作成責任者				
事業開始年度	平成23年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	参事官(情報担当)付	学術基盤整備室長 藤澤 亘				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画 (令和3年3月26日閣議決定)					
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	科学技術・学術情報(以下「科学研究情報」という)の円滑かつ効率的な発信・流通を図るため、科学研究情報発信基盤の現状を明らかにし、文部科学省における施策の企画立案や各大学における提案等に供することにより、科学研究情報発信基盤の強化を促進する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	大学図書館、コンピュータ、ネットワーク等の科学技術情報発信基盤は、大学等における教育・研究に必須であり、その整備や充実を図ることは大学等における教育・研究の発展のために極めて重要である。本事業では、このような科学研究情報発信基盤の整備改善の在り方について、有識者からの御意見も伺い検討を行う。また、当該検討の基礎として活用する学術情報基盤実態調査等を行い、科学研究情報基盤の実態を把握する。なお、学術情報基盤実態調査結果については、各大学等における環境改善に活用できるように文部科学省HPや政府統計の総合窓口に公開する。									
実施方法	直接実施									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	9.1	9.1	8.2	7.4	7.4			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		9.1	9.1	8.2	7.4	7.4			
	執行額		7	5.7	7.3					
執行率 (%)		77%	63%	89%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		77%	63%	89%						
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	庁費		7	7						
	職員旅費		0.3	0.3						
	諸謝金		0.1	0.1						
	委員等旅費		0.1	0.1						
	計		7.4	7.4						
活動内容 (アクティビティ)	大学等における教育・研究に必須である科学技術情報発信基盤の整備や充実を図る。科学研究情報発信基盤の整備改善の在り方について有識者による検討を行い、当該検討の基礎として活用する学術情報基盤実態調査等を実施する。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	各大学等における教育・研究環境改善	科学研究情報発信基盤の実態把握にかかる調査回数	活動実績	回	5	2	7	-		
			当初見込み	回	2	2	2	7	7	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	当初予算額/調査回数 (※事務経費を含む)			単位当たり コスト	百万円	1.8	4.6	1.2	1.1	
				計算式	百万円/調査回数	9.1/5	9.1/2	8.2/7	7.4/7	

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標		目標最終年度	
								4年度	年度	-	年度
国公私大学の科学研究情報発信基盤の実態を明らかにすることを目的とした調査を行っており、その結果は、文部科学省における今後の施策の企画立案や各大学における自らの情報環境の改善等に向けた検討に活用されている。		毎年度の国公私大学の科学研究情報発信基盤の実態を明らかにした報告書の公表及び各種会議における情報共有	成果実績	回	2	1	1	-	-	-	-
			目標値	回	1	1	1	4	4	4	4
			達成度	%	100	100	100	-	-	-	-

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標		目標最終年度	
								4年度	年度	-	年度
国公私大学の科学研究情報発信基盤の実態を明らかにすることを目的とした調査結果が、広く国民に参照・活用されている。		毎年度の国公私大学の科学研究情報発信基盤の実態について明らかにした報告書のダウンロード件数	成果実績	回	28,782	33,623	40,524	-	-	-	-
			目標値	回	-	-	-	40,000	40,000	40,000	40,000
			達成度	%	-	-	-	-	-	-	-

根拠として用いた統計・データ名 (出典)	文部科学省調べ
-------------------------	---------

政策評価、 画との関係 政策評価	政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化	
		施策	8-2 基礎研究・学術研究の振興
			政策評価書 URL
該当箇所	施策目標8-2の達成目標2 4ページ		

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の 必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国民生活に質の向上をもたらすイノベーションの源泉としての学術研究・基礎研究を推進するため、科学研究情報発信基盤の現状を把握し、その強化を促進することは、国民・社会のニーズを反映している。なお、科学研究情報発信基盤の実態把握にあたっては、社会のニーズを考慮した調査項目の見直しを行っている。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	大学等の研究教育活動を支える科学研究情報発信基盤について、我が国全体としての現状把握を行うとともに、その改善の検討等を行う取組は、国として実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	科学研究情報発信基盤の実態を把握し、その改善検討・強化を促進する本事業の取組は、科学技術イノベーションの源泉となる学術研究・基礎研究に不可欠な要素であり、必要かつ適切な事業であるとともに、政策体系の中においても優先度の高い事業である。

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	科学研究情報発信基盤を強化するという業務の専門性を踏まえ、競争性を確保した上で支出先の選定を行っている。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	会計規則に基づき、事業目的に沿った費目・使途となる執行に努めている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	前年度実績を基に十分な精査をした上で執行し、業務目的に即した効率的・効果的な執行に努めている。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	国公私大学の科学研究情報発信基盤の実態把握の調査手法に関しては必要に応じて外部の専門家等の意見を聞きつつ、実態に則した調査を実施し、その内容を各大学における自らの情報環境の改善等に向けた検討に用いられるよう公開し、各機関の情報発信基盤の改善に役立っている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	科学研究情報発信基盤の強化に資するため、毎年着実に実態調査を行い、その内容を各大学における自らの情報環境の改善等に向けた検討に用いられるよう公開及び各種会議における情報共有を行うことで、各機関の情報発信基盤の改善に役立っている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	本経費で実施している学術情報基盤整備実態調査の調査結果は、公表に際し、プレスリリースを行うとともに、文部科学省HPや政府統計の総合窓口に公開し、容易に参照できるようにしており、当省における今後の施策の企画立案や各大学における自らの情報環境の改善等に向けた検討に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	事業番号			事業名
点検・改善結果	点検結果	本事業は、科学技術イノベーションの源泉となる学術研究・基礎研究を支える科学研究情報発信基盤を強化するため、その実態把握を行い、環境改善の検討に活用するものであり、政策体系の中でも優先度が高く、必要不可欠なものである。文部科学省等における企画立案等に活用することにより、科学研究情報発信基盤を強化する本事業の目的に即した結果が得られている。また、本事業に係る経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めている。		
	改善の方向性	本事業の実施に当たって、大学等の教育研究活動を支える科学研究情報発信基盤の整備に資するため、実態把握について調査手法等に関して必要に応じて外部専門家の意見を聴取しつつ、引き続き効率的・効果的な実施に努めていく。		

外部有識者の所見

アウトカム指標について、現在の「会議における情報共有」に加えて、調査結果の活用状況を示す指標（例えば、学術情報基盤実態調査結果ページのダウンロード数やアクセス数等）も設定する必要があるのではないか。

行政事業レビュー推進チームの所見

一
部
の
改
善
事
業
内
容

この事業は、平成23年度から継続して実施されている事業であるが、令和4年度の外部有識者の所見を踏まえ、事業の成果が把握できるより適切な指標を設定すべきである。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執
行
等
改
善

外部有識者からの指摘を踏まえ、政府統計のポータルサイト「政府統計の総合窓口(e-Stat)」における「学術情報基盤実態調査」結果のダウンロード数を新たにアウトカム指標として設定した。

備考

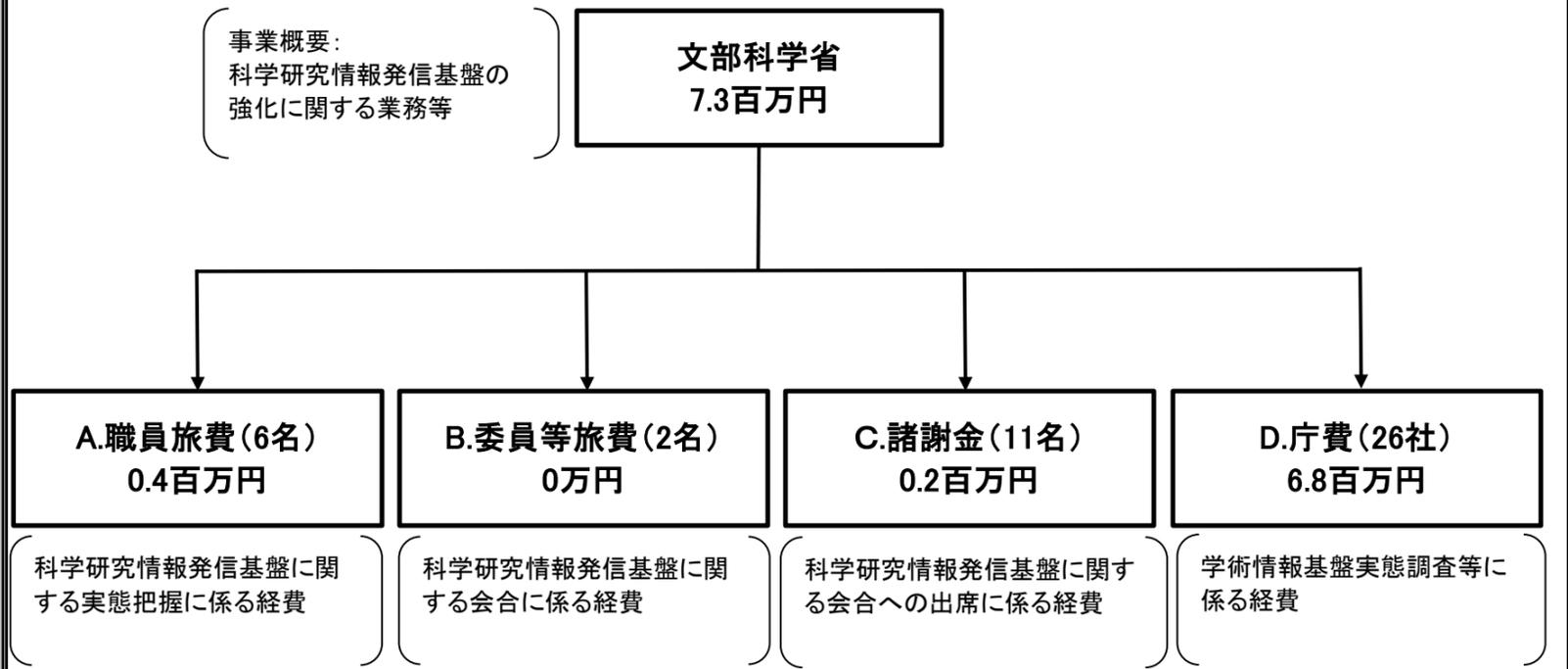
https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2021/1418398_00005.html

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	48			
平成24年度	244			
平成25年度	220			
平成26年度	217			
平成27年度	205			
平成28年度	204			
平成29年度	212			
平成30年度	211			
令和元年度	文部科学省 - 0202			
令和2年度	文部科学省 0209			
令和3年度	2021 文科 20 0227			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・用途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.個人A			B.個人A		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	100万円未満の支出のため省略			100万円未満の支出のため省略	
計		0	計		0
C.個人A			D.(株)シード・プランニング		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	100万円未満の支出のため省略		庁費	学術情報基盤実態調査にかかる請負業務	4.8
計		0	計		4.8

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	
2	個人B	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	
3	個人C	-	職員旅費	0.1	その他	-	-	
4	個人D	-	職員旅費	0	その他	-	-	
5	個人E	-	職員旅費	0	その他	-	-	
6	個人F	-	職員旅費	0	その他	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	委員会等 出席旅費	0	その他	-	-	
2	個人B	-	委員会等 出席旅費	0	その他	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	委員会等 出席謝金	0	その他	-	-	
2	個人B	-	委員会等 出席謝金	0	その他	-	-	
3	個人C	-	委員会等 出席謝金	0	その他	-	-	
4	個人D	-	委員会等 出席謝金	0	その他	-	-	
5	個人E	-	委員会等 出席謝金	0	その他	-	-	
6	個人F	-	委員会等 出席謝金	0	その他	-	-	
7	個人G	-	委員会等 出席謝金	0	その他	-	-	
8	個人H	-	委員会等 出席謝金	0	その他	-	-	
9	個人I	-	委員会等 出席謝金	0	その他	-	-	
10	個人J	-	委員会等 出席謝金	0	その他	-	-	
11	個人K	-	委員会等 出席謝金	0	その他	-	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社 シード・プ ランニング	9010001144299	学術情報基盤実態調査に かかる請負業務	4.8	一般競争契約 (最低価格)	4	100%	
2	株式会社 インター ブックス	6010001117893	翻訳業務	0.6	随意契約 (少額)	-	100%	
3	株式会社秋山商会	8010001036398	消耗品の購入	0.4	随意契約 (少額)	-	100%	
4	オフィスイシイ株式会 社	7012401023381	消耗品の購入	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	
5	株式会社大和速記情 報センター	5010401030061	速記業務	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	
6	株式会社ブルーホッ プ	6010001056290	印刷発注業務	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	
7	株式会社日旅物流	5030001020584	梱包発送業務	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	
8	東京地下鉄株式会社	4010501022810	通信運搬関連業務	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	
9	株式会社紀伊國屋書 店	4011101005131	図書の購入	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	
10	東京官書普及株式会 社	1010001034053	図書の購入	0	随意契約 (少額)	-	100%	